

学校と地域の融合教育研究会

会報 NO.25

マーク制作:関知啓子(秋津コミュニティ:蚊帳の海一座)



2004.4.25

融合研のホームページは、<http://www.yu-go.info/>

事務局; 〒273-0122千葉県佐倉市中志津7-17-4 TEL/FAX 043-463-1929

メール会員には原則として、印刷物での会報は郵送されません。印刷物として欲しい方は、ご自分でプリントアウトをしてください。その分、メール会員にはホームページやメール等による情報面で様々な特典があります。是非、上記のホームページをご覧ください。

また、例年通り、「会員継続の意思確認」をしています。継続をするか・退会するかの方どちらの方も、ご連絡ください。

本号の内容

巻頭言 ; 今号は、事務連絡が主になりますので割愛します。

- 1 「賢治と啄木青春のまち・融合フォーラム2004 in盛岡」 の案内
- 2 プログラム集積の資料採用の許諾について
- 3 融合研の活動方針について
- 4 会員継続の意思確認と会費の納入について
- 5 会員名簿について
- 6 会員の活動から
- 7 その他

1 「賢治と啄木青春のまち・融合フォーラム2004 in盛岡」の概要かたまる

学校と地域の ~融合フォーラム~ 開催のご案内

- 大反響!! ぜひご参加を! -

融合研最大の事業である融合フォーラムの概要が固まりました。東北の地では、第2回目の仙台市に続いて、2度目となります(ミニフォーラムを含めると3度目)が、支部組織も強固な東北ですので準備も万全です。また現在、各地で進行している様々な視点からの融合活動が話題になるようにと分科会も多彩です。さらに、当日だけではなく、フォーラムを迎えるまでの意見交換も充実させて、質の高い充実したフォーラムになるようにとの試みもされています。必ずやご期待に沿えるものと思います。

盛岡市は、宮澤賢治のふるさとであり、石川啄木が青春時代を過ごしました。また、盛岡市に程近い紫波町は、銭

形平次」の作者である野村胡堂の生家もある文化の香り高い地ですので、フォーラムの前後に訪ねてみることもお勧めです。(フォーラム終了後に、地元の会員が案内してくれる「オプションツアー」の企画もあります)。どうぞ、奮ってご参加いただけるよう今から予定に入れておいてください。

1. テーマ：市民の自立を目指した生涯学習社会の創造と市民との協働

学校と地域の融合教育研究会では、2003年の大阪大会において「学社融合」が、いつでもどこでもだれでも学べる生涯学習と安全で安心なノーマライゼーションのコミュニティづくりに寄与する学校像をめざしていることを確認いたしました。

盛岡大会は、大阪大会の提言を受けて、さらに市民が自ら考え行動する実践を検証し、今、市民が学校と協働し何を創りあげていくべきかを問いかける大会とします。

2. 開催日：8/21(土) 12:00受付～ 8/22(日) 12:00終了

融合研総会+基調講演+6分科会+屋台フォーラム+懇親会+子どもからの提言+パネルディスカッション+オプションツアー

スケジュール案

8/21

12:00 ~ 受付
12:30 ~ 13:30 総会
13:30 ~ 13:45 開会行事
13:45 ~ 15:15 基調講演
15:15 ~ 17:00 分科会
17:00 ~ 18:00 屋台フォーラム
18:00 ~ 20:00 懇親会+セリ市

8/22

9:00 ~ 9:30 分科会報告
9:30 ~ 10:00 子どもの提言
10:00 ~ 12:00 パネルディスカッション
12:00 ~ 12:10 閉会行事
13:00 ~ オプション「賢治と啄木そして胡堂の青春ツアー」

3. 内容

基調講演 「まちづくりと学社融合」 講師；えにしやの清水義晴さん

まちづくりは、小さな声や弱いところから改革は始まる。新しいワークショップによる実践を仕掛けてきた清水さんのお話は、これからの学社融合に大きな衝撃となるでしょう。

分科会 ・6分科会を設定します。

・それぞれの分科会を企画プロデュースする担当者を設定する。

・分科会の内容と担当者

1. おやじの会の権利回復 担当：仙台市・斎藤さん・石垣さん
2. 子どもの読書 担当：紫波町・大石さん
3. 情報は融合の味方 担当：仙台市・成瀬さん
4. はじめての学社融合 担当：紫波町・藤尾さん
5. まちづくりのコーディネーターをめざそう 担当：仙台市・針生さん
6. 子どもの自尊と可能性を広げる 担当：仙台市・鈴木さん

分科会のネーミング、内容や発表者についてはそれぞれの担当から ML に入れます。

親父の権利回復（楽しくって育児なしの父親でいられない？）

家庭教育の話題に登場する母親達、しかし、家庭は母だけのものではない。全国のおやじネットワークの動きや仙台の事例、千葉県鎌ヶ谷市初富小の事例 etc

子どもの読書

様々なきっかけが子どもを自立させ、行動させる。ひとつの出来事を紹介した「ハンナのかばん」（ポプラ社）。そして本からまた全国に広がる子ども達の輪。この本の主人公ハンナとホロコーストをめぐるお話をメインに、訳者の石岡史子さんと子どもと読書に関わる大人のあり方を考える。

情報は融合の味方

大阪フォーラムで速報の便利さを体験しました。学校を公開するHP、情報の相互交流ができるメール以外にまだまだたくさん利用できる IT、仙台のシニアネットや宮城県玉沢小学校などの事例を紹介し、もっと、もっと考えよう。

はじめての学社融合

地元にとっての入門分科会、いろいろなきっかけが学社融合を生み出してきました。岩手で進めている教育振興運動や市川のナーチャリング、神奈川の森の里など、様々なアプローチをふまえながら検証していきます。

まちづくりと学校：まちづくりコーディネーターを目指そう

博進堂という印刷会社のユニークな社内教育の仕組み、せんだいみやぎNPOセンターが進めている地域人材開発のしくみ=社会起業家育成とコミュニティビジネスの事例をふまえ、実践していくための考え方や手法について重点的にディスカッションを進めます。

子どもの自尊と可能性を広げる

仙台市教育委員会の不登校の適応指導センターの取り組みをもとに、フリースクールやコミュニティスクールのあり方を考える。また、子どもの自尊や先生の自信につながる学社融合の取り組みの事例紹介をしていきたいと思いません。

パネルディスカッション

パネラー 國井 達夫 氏（盛岡市教育振興推進委員会長）

清水 義晴 氏（えにしや代表）

役重 眞喜子 氏（東和町教育委員会次長）

コーディネータ 野澤 令照氏（学校と地域の融合教育研究会東北支部長）

参加費

大会参加費 ; 一般2,000円 ・ 会員と学生1,000円

懇親会付宿泊 ; 10,000円（懇親会のみ3,500円）

オプションツアー : 「賢治と啄木そして胡堂ゆかりの地めぐりと茅葺露天風呂の温泉」
1泊2食付 12,000円程度

その他；新潟のワークショップの参加や夜まで語ろうナイターとか、あちこちで、いろいろ楽しい話が出ています。

4. お問合せ+屋台発表申込み先

「学校と地域の融合教育研究会」事務局（宮崎 稔会長・宮崎雅子事務局長 自宅）

融合研のホームページは、<http://www.yu-go.info/>

〒273-0122 千葉県佐倉市中志津7-17-4 TEL/FAX 043-463-1929

メールアドレス miyazaki@jb3.so-net.ne.jp

実践発表者をしたい方が自由におこなう「屋台フォーラムでの発表」を、募集しています。方法とスタイルは、これまでの反省を生かし、じっくり質問したい・語りたいたいものになるようにしたいと思います。どうぞ、奮ってご応募ください。応募先は、事務局までメールかFAXで。

5. 会場

フォーラム主会場「プラザおでつて」

〒020-0871 岩手県盛岡市中の橋通1-1-10 019-653-4417 <http://www.odette.or.jp>
分科会・懇親会・宿泊「ホテルサンオーエン」

〒020-0871 岩手県盛岡市中盛岡市中ノ橋通1-1-21 019-653-7000



2 プログラム集積の資料採用の許諾について

これまでの学社融合資料を、プログラム化し冊子にしてお手元に届くようにしていきます。これまでに、フォーラムで発表したり、事務局へ資料を送って来られたりした方のものは、採用された場合、冊子にすることを原則的に本人が許可をしたものとして扱わせていただきます。もし、不都合がある方は、事務局までご一報ください。採用を取り止めます。

3 融合研の活動方針

会員の活動や意識が多彩になるにつれ、融合研に求めるものも多様化してまいりました。多くの貴重なご意見をもとに、会としての活動理念等も検討してきています。今後も、それぞれのお考えを率直にお知らせくださるようお願いします。

ここで、改めて、活動の基本方針を述べます。

発足時の理念である、「学社融合活動の情報交換を通して、会員各自の活動の参考にする。」

したがって融合研としては、できるだけの情報提供をしていくようにします。現在、進行しているプログラムの集積作業の第一号が、6月末にはお手元に届くものと思われます。ご期待ください。

会としての活動の方法は、学社融合の推進に欠かせないキーワードが、「できる人が」「できるときに」「無理な

く」「楽しく」であることから、会としての活動も同様の考えに基づいて行うようにします。昨今、各界からの融合研への期待には大きいものがありますが、運動のスタンスとして背伸びをしてしまうと、会員各自の活動そのもの（足もと）が、揺らいでしまいかねません。それでは元も子もありませんので、会員相互のつながりを大事にした家庭的な会というスタンスを持ち続けていくようにします。

4 会員継続の意思確認と会費の納入について

融合研では、「幽霊会員をつくらない。」ということで、会員継続の意志確認をしています。例えば、行政などで配置換えになり、他の部署に移動したので融合研を辞めたいという人等は、ご遠慮なく連絡ください。

メールをお持ちの方は、すでにメーリングリストで連絡されていますので、その方法でお願いします。

印刷物会員の方は、同封の葉書に必要事項を記入になって投函してください。

再登録の締め切り日を、5月31日と設定させていただきました。それ以降の登録は、退会して再加入をしたというようにさせていただきます。

会費の納入は、登録の意思表示と一体です。意思表示をしただけでは会員登録をしたことになりませんので、よろしくをお願いします。

(振込先)

(1)郵便局口座 (記号)10500 (番号)42592921 宮崎稔

(2)銀行口座 東京三菱銀行 普通預金 (店番)277 津田沼支店 (口座番号)1759307

(名義)融合研 宮崎稔

2002年度からの会費は、3000円です。 以上、よろしくをお願いします。

5 会員名簿について

昨今のインターネットウィルスの被害拡大や不正アクセスを防ぐために、会では、コンピュータについてプロである会員のお力添えで、会員が被害に遭わないように、また会員が加害者にならないようにとの配慮からセキュリティにはできるだけの配慮をしています。その一つとして、ホームページも会員だけの専用ページをもうけたりしています。そのため、ホームページを見たり、会への連絡をする場合は、会員番号が欠かせません。「忘れた」という問い合わせも多数届いています。

どうぞ、ご自分でしっかりと記憶するかメモをしておくようにお願いします。

・自分の会員NO.とパスワードは、以下のホームページで確認できます。

<https://sv36.bestsystems.net/~dauj000/kaiin/kaihou.htm>

ID:kaiin パスワード:only です。

6 会員の活動から

千葉県支部結成一周年記念研修会のご案内

千葉県支部が結成されて5月で一周年になります。そこで、昨年に引き続き今年も研修会を行います。今年は学生さんの論文発表にプラスして越田会員の講演も予定しています。皆様の御参加をお待ちしています。また、会員以外の方も歓迎します。声をかけてください。

参加希望される方は下記および添付ファイルをごらんの上4月30日までに返信ください。

(施設予約の関係がありますのでお早めに)

<日時> 2003年5月15日(土)13:30~5月16日(日)12:00まで(受付開始13:00より。)

<場所> さわかちば県民プラザ(最寄り駅・常磐線・千代田線・柏駅 バス20分)

<http://www.clis.ne.jp/plaza/koutu.html>

東京駅八重洲口から直通バス:

東京駅バス乗り場 11:20 発 12:05 着 柏の葉公園下車 JRバス: 03-3516-1950

<内容&スケジュール> <http://groups.yahoo.co.jp/group/you-go/files/> をごらんください。

<研修内容>

学社融合—卒論・修士論文を書いた学生から学ぶ

- 櫻井ひろ子さん(立教大学 コミュニティ福祉学部コミュニティ福祉学科 学位論文)

「空き教室の活用によるコミュニティの形成」

佐倉市の自主保育の会と秋津コミュニティの例から

- 塩野ひろ美さん(融合研会員 埼玉大学大学院 教育学研究科 修士論文)

「『市民力』形成に関する一考察」

- 横山剛士さん(筑波大学大学院 体育研究科体育方法学専攻 修士論文)

「学社連携・融合による体育事業の定着過程に関する事例研究—学校・地域の合同運動会に着目して—

- 武笠和夫さん(融合研会員 東京学芸大学大学院 教育学研究科総合教育開発専攻

多言語多文化教育コース修士論文)

「学校を場にした市民活動と公共性の生成—習志野市と三鷹市の市民活動を事例にして—」

- 越田幸洋さん:(融合研プログラム研究開発委員長・04.3月教頭で自主退職し「学社融合研究所“かぬま”」を創設)
特別講演 【演題】「学社融合をコーディネートする—校長になることよりもコーディネーターを選んだ私の思い」

論文の学習とは別に会員の最近の実践報告や問題提起なども考えています。発表したい方は参加希望のさいに御連絡ください。

<費用> ・会費 : 1000円(資料コピー代&施設利用費など)

・宿泊費&朝食 : 5000円(近くに食事するところがありません。)

15日(土)夜に夕食兼懇親会(2000円程度)も考えています。懇親会差し入れ歓迎です。

都合により部分参加される方は1から4のいずれに参加されるかをお知らせください

1. 15日(土)研修会
2. 懇親会・夕食会
3. 宿泊&朝食
4. 16日(日)研修

7 その他

2005年度のフォーラム開催の立候補を受け付けます

来年以降の「フォーラム開催地」の立候補を募集しています。支部や近隣の人と相談したりして手を挙げてください。あるいは、自分ひとりだけでも、その意向がある方は、「事務局へとりあえず相談」してみてください。

各地の情報;会員が企画したり参加したりする講演会やミニフォーラム的な活動が、各地で盛んになりました。情報提供をいただければ、会場に近い人へ参加を促すことができます。ホームページに常時掲載します。予定のある方は、ご一報ください。

マスメディアに取り上げられたり執筆したものが掲載されたりしたとき、またその予定がある場合は、ご一報ください。プログラムバンクに登載する資料として検討させていただきます。その場合、掲載してよいかどうかを版元にご確認ください。

投稿は、大歓迎です。メールでも印刷物でも結構です。実践されていることや学社融合について思うことなど、事務局へおよせください。

それぞれの地域で開催するミニフォーラムや勉強会の情報をお知らせください。メールでもファックスでも構いません。ホームページに載せて、都合がつく方に広く紹介します。「規模」の大小や「内容」の偏りは問いません。関心のある方に報せます。